

京丹後発！
ICT×地方創生甲子園

グランプリ決定！

京丹後発！
JAPAN
CHALLENGER
AWARD 2022

【みらいのジュータロー賞】
神原智美さん
(北海道奥尻高等学校)

【松本重太郎賞】
足立樹律さん
(京都府京丹後市)

令和4年11月22日
京 丹 後 市

京丹後の資源を活かしたビジネスアイデアコンテスト「京丹後発！ICT×地方創生甲子園」と、「京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2022」を次のとおり開催し、グランプリ受賞者を決定しました。この取り組みは本市での起業・創業、また、新産業の創出につなげていくための実践型プログラムの一環として実施し、今年度で2回目の開催となります。

京丹後発！ICT×地方創生甲子園

- ・日にち 令和4年10月30日（日）
- ・場所 丹後王国「食のみやこ」
- ・対象 全国の高校生
- ・後援 経済産業省近畿経済産業局
- ・特別協賛 アサヒグループジャパン株式会社
- ・審査員（市長除く）
柳澤大輔（面白法人カヤック 代表取締役）
平野佐世子（京丹後市商工会 青年部長）
宮島徹雄（iU情報経営イノベーション専門職大学 事務局長）
ハヤカワ五味（株式会社ウツワ 代表取締役）
株式会社 ILLUMINATE 代表取締役



開催の様子

京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2022

- ・日にち 令和4年11月18日（金）
- ・場所 丹後地域公民館
- ・対象 全国の若者
- ・後援 経済産業省近畿経済産業局、デジタル庁
- ・特別協賛 アサヒグループジャパン株式会社、大阪丹後人会
- ・審査員（市長除く）
藤野英人（レオス・キャピタルワークス株式会社）
代表取締役 会長兼社長 CIO
白石行洋（アサヒグループジャパン株式会社顧問）
グループ資料室 室長
行待佳平（京丹後市商工会 会長）
池田香代子（京丹後 ⑩ おかみさんの会）



開催の様子

京丹後発！ICT×地方創生甲子園

北海道から鹿児島まで、全国から応募のあった 84 チームの中から選ばれた 9 チームが発表。
提案いただいたビジネスアイデアは、市内事業者とのマッチングにより事業化を目指します。

グランプリ【みらいのジュータロー賞】



かんばら ともみ
神原 智美さん

(北海道奥尻高等学校)

「ゲーム×地方創生 地域発信はゲームが補う時代！」
というテーマのもと、京丹後の伝説や実話などの物語を
題材としたゲーム企画を提案。



京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2022

地域の課題や観光をテーマに、それらをビジネスで解決する「ソーシャルビジネスアイデア」について、7 名が発表。
7 名のアイデアは事業モデルになるまで完全伴走します。

グランプリ【松本重太郎賞】



あだち きり
足立 樹律さん

(京都府京丹後市)

「地域や観光客のコミュニティのハブを担うサウナ屋」と
いうテーマのもと、あるものをうまく使い、サウナを地方の
武器にするビジネスモデルを提案。



※グランプリ以外の発表者については「別紙 1、2」参照

当日の様子は後日 YouTube で公開予定！

【問い合わせ先】

京丹後市商工観光部商工振興課

TEL 0772-69-0440 / FAX 0772-72-2030

山本 伊織さん（かえつ有明高等学校）

「E-sports×地方創生～E-sports で京丹後を盛り上げよう～」
京丹後市の施設を使って、E スポーツイベントの開催を提案。

篠原 佑介さん（昭和学院高等学校）

「京丹後初はたらく親を支える移動式保育園」
保育園バスそのものを移動式保育園にし、親御さんは、アプリで今日の帰りの時間を伝えるなどして、効率よく展開したい。

北島 禾雪さん、加瀬 葵さん（千葉県立銚子商業高等学校）

「CTETK～CYCLING TOUR×Electric Train Kis～」
京丹後市と銚子市の地域の類似性からローカル電車のゲームを作成。ゲームは世界的にも共通しており、シティプロモーションの一環として提案。

仙波 航輝さん（屋久島おおぞら高等学校）

「ICT×自分's～記憶に残る古民家づくりへ～」
介護付きのゲストハウスを提案。

神立 空歩さん（武蔵高等学校）

「バーチャル京丹後」
京丹後市の魅力をメタバースを通じて展開したい。

萬井 紗彩さん、浅野 亜美さん、板倉 然生さん（香川県立高松東高等学校）

「ニーズマスク」
コロナ禍で、マスクはファッションになっている。マスクは洋服と同じようにサイズのフィット感が大事。IT を活用して個々にフィットしたサイズ・形・色・素材のマスクを作る。さらに京丹後市のちりめんやシルクを使用したマスクを販売する提案。

山口 笑愛さん（かえつ有明高等学校）

「地方×自分の「好き」見つけ」
七姫伝説にちなんでセブンスプリンセスをブランディング。京丹後市にきて、自然や人に触れて、自分の成長、自分を見つめる場所にしたツアーを設定。これらのホームページを立ち上げる。

安達 智規さん、後藤 祥汰さん、平林 さらさん、山添 楓さん、井上 愛結さん、小倉 七海さん、多賀野 祥伍さん、野村 諒太さん（京都府立丹後緑風高等学校 網野学舎・久美浜学舎）

「網野学舎・久美浜学舎共同プロジェクト 緑風マーケットに向けた取り組み」
久美浜学舎では「緑風」を意識して緑の食材「バジル」を使用した商品づくりを行った。バジルは大人の味のため、販売ターゲットは大人。網野学舎はこれらをブランディング、プロモーションを通じて地元で販売する。京丹後市のふるさと納税の商品として提案。

【特別発表（審査対象外）】

金森 匡吾さん（iU 情報経営イノベーション専門職大学）

「京丹後植樹プロジェクト」

八隅 孝治さん（網野町地域おこし協力隊）

「次世代へ豊かな海を繋ぐ、海ゴミへのアクションを仕事に」

現在、行なっている「定例ビーチクリーン」「プラゴミをアップサイクルする Precious Plastic の取り組み」「学校や企業への講演、研修」から、さらに「海ゴミが埋め立てられる処分場へのアクション」を提案。

木崎 広海さん（京丹後タピオカ製造工場）

「都会の味を京丹後市に！！」

現在、タピオカ・クレープの製造・販売を行っており、近く、丹後緑風高等学校網野学舎近くに店舗を出す。イベントやふるさと納税の商品として提案。

下岡 千恵子さん（丸友鮮魚）

「～丹後の海の幸を全国へお届け～ おいしい魚でまるっと皆を笑顔に！」

自身をブランド化し、ネット販売も強化。ゲストハウスに出張行商が伺い、鮮魚販売も行う。

①自社ホームページを作成、②自社 EC サイト、③ふるさと納税

田中 栄輝さん（大善株式会社）

「当社の新事業『オリーブプロジェクト』」

事業承継。ただ代々の事業を継続するだけでなく、ふるさと納税で、オリーブの木のオーナー制度など提案。

中田 樹さん（豊岡市地域おこし協力隊）

「京丹後産クラフトグラノーラ」

京丹後市の食材を使いグラノーラを製造し、市内のホテルや旅館に提案・販売する。

由良 拓馬さん（Wine Shop YOiNE）

「京丹後発！ワインデリバリー」

京丹後市のホテルや旅館に、ワインや日本酒のデリバリー、出張ソムリエを行う。また、ノンアルコールワインを製造販売する。

【特別発表（審査対象外）】

伊藤 萌々さん、坂本 綾香さん（同志社大学）

「ゼミ合宿で京丹後市を学生のまちに！」